



アドビシステムズ社、 2009 年会計年度および同第 4 四半期の業績を発表

需要拡大の兆候を示唆

【2009 年 12 月 16 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2009 年 12 月 15 日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2009 年度第 4 四半期（2009 年 8 月 29 日から 2009 年 11 月 27 日）および 2009 年会計年度（2008 年 11 月 29 日から 2009 年 11 月 27 日）の決算結果を発表しました。

2009 年度第 4 四半期の売上は 7 億 5,730 万米ドルでした。2008 年度の第 4 四半期は 9 億 1,530 万米ドルで、2009 年度の第 3 四半期は 6 億 9,750 万米ドルでした。2009 年度第 4 四半期の業績には、アドビシステムズ社による Omniture 社の買収の影響が含まれます。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「第 4 四半期には、お客様からの製品への需要が拡大しました。景気が回復しつつある中、この 1 年に行った投資、来年提供を予定している新製品によって、収益の増加が期待できます」と述べています。

2009 年度第 4 四半期の GAAP に基づく（GAAP ベース）の業績

アドビシステムズ社の第 4 四半期の業績には、2009 年 10 月 23 日の Omniture の買収完了に伴う 2,630 万米ドルの売上が含まれます。企業結合会計基準に従い、アドビシステムズ社の第 4 四半期の業績からは、Omniture の繰延収益 830 万米ドルが除かれており、アドビシステムズ社は今後、この収益を計上しません。

今四半期の GAAP ベース営業利益は 1 億 5,360 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 7,320 万米ドル、2009 年度第 3 四半期実績は 1 億 6,760 万米ドルでした。今四半期の GAAP 上の営業利益率は 20.3% で、前年同期は 29.8%、2009 年度第 3 四半期が 24.0% でした。

今四半期の GAAP ベース純損失は 3,200 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 4,590 万米ドルの純利益、2009 年度第 3 四半期実績は 1 億 3,600 万米ドルの純利益でした。

今四半期の GAAP ベース希薄化後 1 株当たりの損失は、期間中の加重平均発行済株式数 5 億 3,200 万株に対し、0.06 米ドルでした。前年同期は加重平均発行済株式数 5 億 3,490 万株に対し、GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は 0.46 米ドルでした。2009 年度第 3 四半期は加重平均発行済株式数 5 億 3,180 万株に対し、GAAP ベース EPS は 0.26 米ドルでした。

2009 年度第 4 四半期の GAAP に基づかない（Non-GAAP ベース）の業績

今四半期の Non-GAAP ベース営業利益は 2 億 6,520 万米ドルでした。前年同期実績は 3 億 7,490 万米ドル、2009 年度第 3 四半期実績は 2 億 3,710 万米ドルでした。売上に対する

Non-GAAP 上の営業利益率は、今四半期が 35.0% で、前年同期は 41.0%、2009 年度第 3 四半期が 34.0% でした。

今四半期の Non-GAAP ベース純利益は 2 億 680 万米ドルでした。前年同期実績は 3 億 2,090 万米ドル、2009 年度第 3 四半期実績は 1 億 8,610 万米ドルでした。

今四半期の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は 0.39 米ドルでした。前年同期の Non-GAAP ベース EPS は 0.60 米ドル、2009 年度第 3 四半期の Non-GAAP ベース EPS は 0.35 米ドルでした。

2009 年会計年度の業績

本年度の売上は 29 億 4,600 万米ドルで、前年実績は 35 億 8,000 万米ドルでした。本年度の業績には、アドビ システムズ社による Omniture 社の買収の影響が含まれており、第 4 四半期の売上に 2,630 万米ドル貢献しました。前述の企業結合会計基準に従い、本年度の業績からは、Omniture の繰延収益 830 万米ドルが除かれています。

本年度の GAAP ベース営業利益は 6 億 9,050 万米ドルで、前年実績は 10 億 2,800 万米ドルでした。今年度の GAAP 上の営業利益率は 23.4% で、前年実績は 28.7% でした。

今年度の GAAP ベース純利益は 3 億 8,650 万米ドルで、前年実績は 8 億 7,180 万米ドルでした。本年度の Non-GAAP ベース純利益は 8 億 1,470 万米ドルで、前年実績は 11 億 3,600 万米ドルでした。

本年度の GAAP ベース EPS は 0.73 米ドルで、前年実績は 1.59 米ドルでした。本年度の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益は 1.54 米ドルで、前年実績は 2.07 米ドルでした。

2010 年度第 1 四半期の目標を発表

アドビ システムズ社は 2010 年度第 1 四半期の売上目標を 8 億米ドルから 8 億 5,000 万米ドルに設定しています。第 1 四半期の目標範囲には、Omniture ビジネスユニットからの推定約 7,800 万米ドルから 8,300 万米ドルの売上が含まれますが、前述の企業結合会計基準による Omniture の第 1 四半期の繰延収益推定 1,470 万米ドルは除かれます。

第 1 四半期の営業利益率目標は、GAAP ベースで 19% から 21%、Non-GAAP ベースで 30% から 32% です。

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済株式数について、5 億 3,000 万株から 5 億 3,200 万株を目標にしています。また、営業外損益については、200 万米ドルから 400 万米ドルの損失を見込んでいます。GAAP ベースと Non-GAAP ベースの実効税率は約 24% と予想しています。

これらの目標値に基づき、2009 年度第 1 四半期の希薄化後 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.21 米ドルから 0.25 米ドルの間、Non-GAAP ベースでは 0.34 米ドルから 0.39 米ドルの間と設定しています。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業利益率、営業外収益、実効税率、株式数、1株当たり利益、および市場の成長性に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 現在進行中の不況および金融市場の不確実性など、アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な経済、政治的環境の不利な変化
- 新製品およびサービス、または既存製品およびサービスの新しいバージョンまたは機能強化に関して、顧客の要求に応える開発、市場投入、流通の失敗
- Omniture の買収など、過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- 既存の、または新たな競合他社による新製品およびサービスならびにビジネスモデルの市場投入
- 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗
- 新規事業からの売上予測の難しさ
- 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- アドビ システムズ社の知的財産を第三者による侵害、不正使用、不正開示、または悪意ある攻撃から保護できないこと
- 当社の製品およびシステムのセキュリティに関する脆弱性
- セキュリティまたはプライバシーの侵害によるサービスの中断または遅れ、もしくは、サービスのホスティングまたは提供を行うサードパーティサービスプロバイダからのデータ収集の失敗
- 販売経路および流通経路の効果的な管理の失敗
- 天災、大惨事による事業中断
- 国際的な事業展開に伴うリスク
- 外国為替相場の変動
- 会計原則またはその解釈の変更
- アドビ システムズ社ののれんまたは無形資産の減損
- 税に関する法令またはその解釈の変更
- 主要な人材を集め、維持することができないこと
- 資本市場の悪化による投資ポートフォリオの減損
- 株式投資に伴う市場リスク
- 製造委託業者との取引関係の中断または解除

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が 2009 年度（2008 年 11 月 29 日から 2009 年 11 月 27 日）について 2010 年 1 月中に提出予定の年次報告書（Form10-K）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビシステムズ社が証券取引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。